

令和 4 年度大分県民スポーツ大会における新型コロナウイルス感染防止対策について

【 11 弓道 】

1. 競技会感染対策ガイドラインについて

1. 1 基本の対策

(1) 弓道場施設（近的場・遠的場・控室棟・その周辺）への選手・監督・役員以外の立ち入り禁止。

(2) 体温測定／マスク着用／3 密回避／手指消毒の徹底。

※非接触体温計・消毒用アルコールの準備

(3) 選手・監督・役員は大会 2 週間前から健康チェックシートを記録すること。

(4) 各対策責任者は体調不良などの症状が確認された場合や感染対策遵守に反する状況が確認された場合は感染対策総括責任者に報告するとともにガイドラインに沿った必要な対応を行う。

1. 2 関連する対策ガイドライン

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策に関する地方審査会事業運営ガイドライン (R02-090) 全日本弓道連盟 (R02. 09. 07)

(2) 令和 3 年度大分県民体育大会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン (R03-056) 大分県民体育大会実行委員会 (R03. 06. 08)

2. 各競技運営上での感染対策について

2. 1 受付感染対策

- (1) 来場者は手指消毒・体温測定を行い、健康チェックシートを監督に提出する。
- (2) 受付は各団体の男女監督が行う。
- (3) 受付時は身体的間隔（最低1m以上）を確保して並ぶこと。
- (4) 監督は健康チェックシートを受付の提出箱に提出し、概要を報告する。
- (5) 受付係は感染が疑われる者が居ないことを確認した後、健康チェックシートを整理して感染対策総括責任者に提出する。感染対策総括責任者は内容確認後、保管する。

2. 2 競技会場感染対策

- (1) 監督会議は各郡市2名の参加で近的射場の射場内にて3密回避の間隔をとって、短時間で行う。（実施要項の説明等は行わない、参加状況の確認と質疑応答のみ）
- (2) 開会式は遠的射場の屋外矢道にて3密回避の間隔を取って行う。
- (3) 閉会式は表彰式のみを近的射場にて3密回避の間隔を取って行う。
- (4) 選手および監督の近的弓道場への入場は第1控え及び第2控えのみとする。遠的時の第1控え及び第2控えは屋外テントとする。
- (5) マスクは射場内控えで行射開始直前に外し、懐にしまう。行射終了後は退場直後にマスクを着用する。
射場内控えとして近的射場・遠的射場内に椅子を準備する。”
- (6) 矢取時、矢拭き時には手袋（軍手）を使用する（矢にアルコールなどを吹き付けないこと）

2. 3 諸室感染対策

- (1) 選手控室は従来のように控室棟内だけでは3密を回避できないので、屋外にテントを設置する。
- (2) 的前係・記録係・掲示係など運営役員の控えも屋外テントを使用する。
- (3) 更衣室はスペースが狭いため、最大2名までに入場制限する。また、窓やドアの開放など可能な限り換気に気をつける。
- (4) 控室や洗面所前には手指消毒用アルコールを設置する。
- (5) 諸室対策係は定期的に巡回・監視し、必要に応じて消毒や換気を行う。

2. 5 観客席感染対策

- (1) 近的射場の観客席及び遠的射場の観客席（的に向かって右側）への入場は行射中の団体関係者のみに制限する。その場合もマスクを着用し、身体的間隔1m以上を確保すること。
- (2) 会場対策係を配置し、観客席への入退場誘導を行う。